

7.0型ワイドシステムTV

AVX-P7

取扱説明書

必ずお読みください

目次

はじめに

SOURCE

テレビ

MASTER

テレビ

マルチCD

マルチDVD / 1枚型DVD

設定

各種の設定

その他の機能

付録

目次 8ページ

carrozeria

必ずお読みください

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告

【使用方法】

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやDVDなどを見ない



禁止

運転者がテレビやDVDなどを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやDVDなどを見ると前方不注意となり、交通事故の原因となります。

【異常時の処置】

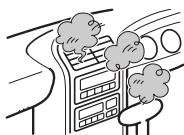
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



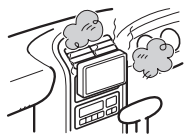
必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

⚠ 注意

[使用方法]

モニター部にヒーターの熱などを当てない

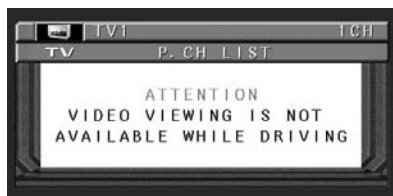


禁止

モニター部にエアコンのクーラーの冷気やヒーターの熱を当てないでください。そのままご使用になると故障や火傷の原因となることがあります。

安全走行のために

本機はパーキングブレーキのオン/オフを検知しており、走行中にテレビやDVDの映像を見ることができないようになっています。(走行中は次のようなメッセージが表示されます。)



例：テレビを見ようとしたとき

このようなメッセージは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけるると解除されます。

リアモニターについて

リア映像出力に、後部座席専用のモニターを接続すれば、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。リア映像出力は、パーキングブレーキのオン/オフに関係なく映像が出力されます。リア映像出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

携帯電話をお使いになる際のご注意

携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナをTVモニターに近づけないでください。画面に、はん点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

ナビゲーションユニットと組み合わせた場合

組み合わせ可能なナビゲーションについて

本機は、30ピンRGB出力付きのHDDナビゲーションオートサーバーのみ組み合わせることができます。ただし、以下の制限事項があります。

- 本機からナビゲーションユニットのミュージックサーバーへは録音できません。
- 本機には、ピクチャーサイドピクチャー（P side P）、ピクチャーインピクチャー（P in P）機能はありません。
- 本機は、ナビゲーションユニットの音声認識による「AV操作」には対応していません。
- 本機とナビゲーションユニットを組み合わせている場合、エンジンスイッチをACCまたはONにしたときに、本機の画面が黒くチラつくことがあります。故障ではありません。

リモコンのスイッチの設定

ナビゲーションユニットのリモコンのスイッチ1～4を正しく切り換えてください。
(→ナビゲーションユニットの取扱説明書)

- 本機をナビゲーションユニットのリモコンで操作する場合、操作モード切り替えスイッチを「AUDIO」に切り換えてください。(→ナビゲーションユニットの説明書)

組み合わせるカーステレオについて

本機は組み合わせるカーステレオによって、一部の操作が異なります。

パイオニア製のIP-BUS入力付きメインユニットと組み合わせる場合

- モードスイッチは、SOURCEモード（S）に切り換えます。
- テレビの操作は、メインユニットで行います。

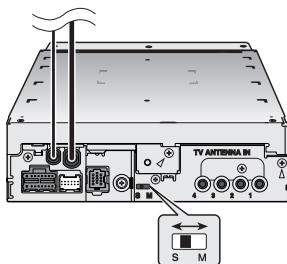
お手持ちのRCA入力（またはFMラジオ）付きカーステレオと組み合わせる場合

- モードスイッチは、MASTERモード（M）に切り換えます。
- 操作は、すべて本機で行います。
- 音声は、カーステレオから出力されます。

モードスイッチの切り換えについて

組み合わせるカーステレオに合わせて、本機背面のモードスイッチをボールペンの先などで切り換えます。

- モードスイッチを切り換えたときは、リセットボタンを押してください。（→62ページ）



必ずお読みください

目次

必ずお読みください

安全のために必ずお守りください	2
安全上のご注意	3
安全走行のために	4
バッテリー上がりを防ぐために	5
ナビゲーションユニットと 組み合わせた場合	5
組み合わせるカーステレオについて	6

はじめに

本体・モニター	10
各部の名称	10
リモコン	12
各部の名称	12
リモコンに電池を入れる	14
リモコン取り扱い上のご注意 50枚型マルチCDプレーヤーを ご使用になる場合のご注意	14
電源のON/OFF	15
電源ON	15
電源OFF	15
情報プレートの見かた	16
モニターの操作	17
モニターの収納	17
モニターの角度調節	17
モニターを一時的に手前に倒す	18
聞きたいソース（音源）を選ぶ （SOURCE）	19
ソースを切り換える	19
ソースをOFFにする	19
聞きたいソース（音源）を選ぶ （MASTER）	20
ソースを切り換える	20
ソースをOFFにする	21
音の調整をする	22
内蔵スピーカーの音量を調節する	22
内蔵スピーカーから出力する音声を 切り換える	22
メインユニットの音量を調節する （SOURCE）	23
タッチキーの基本操作（MASTER）	24
タッチキーを表示する	24
メニュー操作の基本（MASTER）	25

テレビ（SOURCE）

組み合わせるメインユニットについて	26
メインユニットのボタン名称	26
テレビを見る	27
テレビ（TV）に切り換える	27
バンドを切り換える	27
チャンネルを選んで、テレビを見る	27
いろいろな操作	28
FUNCTIONモードを切り換える	28
受信状態の良いチャンネルを自動的に 記憶させる	28
2カ国語放送の音声を切り換える	29

テレビ（MASTER）

テレビを見る	30
基本的なテレビ画面の見かた	30
テレビ（TV）に切り換える	31
タッチキーを表示する	31
バンドを切り換える	31
チャンネルを選んで、テレビを見る	31
プリセットチャンネルリストへ登録する （P. CH LIST）	32
いろいろな操作	32
FUNCTIONメニューを表示する	32
受信状態の良いチャンネルを自動的に 記憶させる（BSSM）	33
2カ国語放送の音声を切り換える （MPX）	33

マルチCD (MASTER)

マルチCDでCDを聞く	34
基本的なマルチCD画面の見かた	34
マルチCD (M-CD) に切り換える	35
タッチキーを表示する	35
ディスクを選ぶ	35
ディスクを切り換える	35
早戻し/早送りする	35
トラックの選択 (頭出し) をする	35
いろいろな再生をする	36
FUNCTIONメニューを表示する	36
リピート再生する (REPEAT)	36
ランダム再生をする (RANDOM)	37
再生を一時停止 (ポーズ) する (PAUSE)	37
スキャン再生する (SCAN)	38
CDの音質を調整する (COMP)	38
リストからトラック名で選んで再生する (TRACK LIST)	39
タイトルを入力する (TITLE EDIT)	39
「CD TEXT」の情報表示	41
ITSを使う	41
ITSリストを作る (ITS MEMORY)	42
ITSリストから再生する (ITS PLAY)	42
ITSリストから1曲ずつ削除する	43
ITSリストからディスクごとに削除する	43

マルチDVD / 1枚型DVD (MASTER)

ディスクを再生する	44
基本的なマルチDVD / 1枚型DVD画面の見かた	44
DVDプレーヤー (S-DVD) に切り換える	45
タッチキーを表示する	45
ディスクを切り換える (マルチDVDの場合)	45
早戻し/早送りする	45
トラック (チャプター) の選択 (頭出し) をする	45
いろいろな再生をする	46
FUNCTIONメニューを表示する	46
リピート再生する (REPEAT)	46
ランダム再生をする (RANDOM)	46
再生を一時停止 (ポーズ) する (PAUSE)	47
スキャン再生する (SCAN)	47
ITS再生について	47
CDのタイトルを入力する	47

各種の設定

各種の設定をする	48
初期設定 (MASTER)	48
外部機器の音声を聞く (AUX)	48
外部機器の名称を入力する	49
基本設定	50
基本設定メニューを表示する (MASTER)	50
基本設定メニューを表示する (SOURCE)	50
ビデオ入力1を設定する (AV INPUT1)	51
ビデオ入力2を設定する (AV INPUT2)	52
バックカメラの接続を設定する (B. CAMERA)	52
リアモニターの表示を設定する (REAR DISP)	53
モニターの自動開閉/セットバックを設定する (FLAP SET)	54
時計を設定する (CLOCK ADJ)	54
音声をFM付きカーステレオで聞く (FM TRANS)	55

その他の機能

エンタテインメントを表示させる	56
画面上の表示をON/OFFする	57

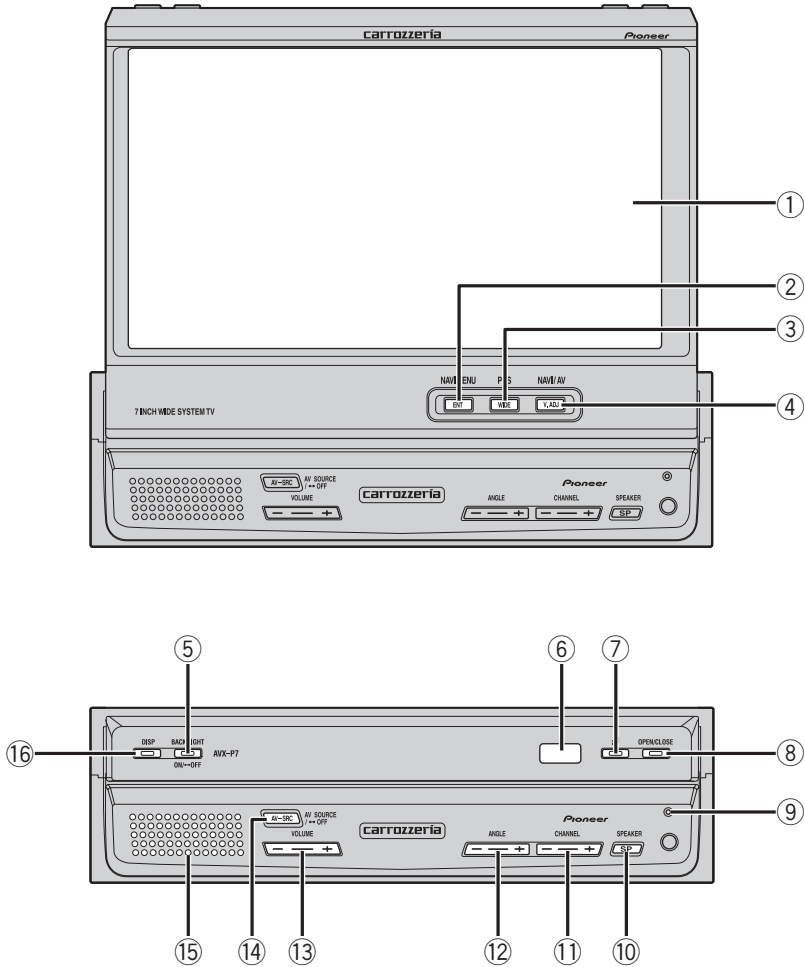
付 録

画面を消す	58
ワイド画面の拡大方法を切り換える	58
ワイドモードの種類	59
画質調整	60
リアモニターを使うとき	61
本機のリセット	62
モニターの正しい使いかた	63
地上デジタルテレビジョン放送について	65
故障かな?と思ったら	67
保証書とアフターサービス	69
仕 様	70

はじめに

本体・モニター

各部の名称

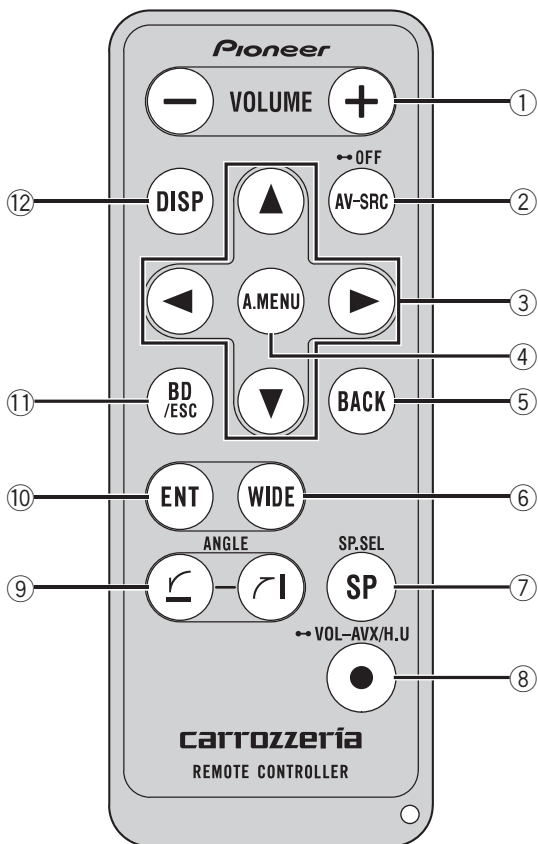


- ① **画面**
7インチのワイド液晶画面です。
- ② **ENTボタン (→56ページ)**
画面表示 (エンタテインメント) を切り換えます。
- ③ **WIDEボタン (→58ページ)**
ワイド画面の拡大方法を切り換えます。
- ④ **V.ADJボタン (→60ページ)**
長く押すと、画質調整メニューに変わります。ナビゲーションシステムを接続している場合、ナビゲーション画面とソース画面を切り換えます。

ナビゲーションシステムの操作については、ナビゲーションシステムの説明書をご覧ください。
- ⑤ **BACK LIGHTボタン (→58ページ)**
長く押すと、モニターのバックライトをOFFにします。もう一度押すとバックライトをONにします。
- ⑥ **外光センサー (→60ページ)**
周囲の明るさに合わせて画面の明るさを自動調整するためのセンサーです。
- ⑦ **一時可倒ボタン (→18ページ)**
モニターを一時的に水平にします。
- ⑧ **OPEN/CLOSEボタン (→17ページ)**
モニターを収納したり、立ち上げたりします。
- ⑨ **リセットボタン (→62ページ)**
出荷時の設定に戻します。
- ⑩ **SPボタン (→22ページ)**
内蔵スピーカーから出力する音声を切り換えます。
- ⑪ **CHANNELボタン**
チャンネルを切り換えます。
- ⑫ **ANGLEボタン (→17ページ)**
モニターの角度を調整します。
- ⑬ **VOLUMEボタン**
内蔵スピーカーの音量 (ボリューム) を調節します。
- ⑭ **AVソース (AV-SRC) ボタン**
ソース (本機に接続されている機器) を切り換えます。
- ⑮ **内蔵スピーカー**
テレビの音声やナビゲーションの音声案内が出力されます。
- ⑯ **DISPボタン**
画面表示を切り換えます。

リモコン

各部の名称



① VOLUMEボタン

内蔵スピーカーやメインユニットの音量（ボリューム）を調節します。

VOLUMEボタン切り換えボタンを長く押しすごとに内蔵スピーカーの音量調節かメインユニットの音量調節かが切り換わります。

② AVソース (AV-SRC) ボタン

ソース（本機に接続されている機器）を切り換えます。

③ ▲/▼/◀/▶ボタン

さまざまな機能を実行できます。

④ A.MENUボタン

メニューの呼び出しや選択した項目の決定をします。

⑤ BACKボタン

一つ前の画面に戻ります。

⑥ WIDEボタン (→58ページ)

ワイド画面の拡大方法を切り換えます。

⑦ SPボタン (→22ページ)

内蔵スピーカーから出力する音声を切り換えます。

⑧ VOLUMEボタン切り換えボタン (→23ページ)

長く押しすごとに、リモコンのVOLUMEボタンの動きを切り換えます。

⑨ ANGLEボタン (→17ページ)

モニターの角度を調整します。

⑩ ENTボタン (→56ページ)

画面表示（エンタテインメント）を切り換えます。

⑪ BD/ESCボタン

テレビのバンドを切り換えます。

⑫ DISPボタン

画面表示を切り換えます。

リモコンに電池を入れる

電池ホルダーを取り出し、リチウム電池（CR2025）を図のようにしてセットします。

リモコンの操作可能範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。



リモコン取り扱い上のご注意

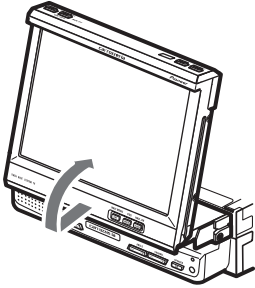
- ・リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- ・本体に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。
- ・付属の電池は充電できません。
- ・リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・電池の液もれが起きたときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。
- ・不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

50枚型マルチCDプレーヤーをご使用になる場合のご注意

本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。

電源のON/OFF

電源ON



エンジンスイッチをACCまたはONにすると、本機の電源がONになり、モニターが自動的に立ち上がりま
す。

- 基本設定の「FLAP SET」(→54ページ)で「AUTO FLAP」をMANUALに設定していると、モニターは自動で立ち上がりません。OPEN/CLOSEボタンを押して、立ち上げてください。
- 本機とナビゲーションユニットを組み合わせている場合、エンジンスイッチをACCまたはONにしたときに、画面が黒くチラつくことがあります。故障ではありません。

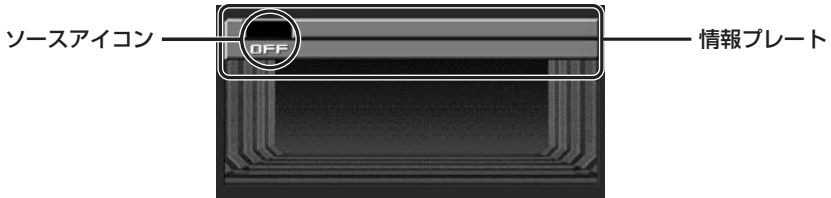
電源OFF

エンジンスイッチをOFFにすると、本機の電源がOFFになります。モニターは、自動的に収納されま
す。

基本設定の「FLAP SET」(→54ページ)で「AUTO FLAP」をMANUALに設定していると、モニターは自動で収納されません。OPEN/CLOSEボタンを押して、収納してください。

情報プレートの見かた

電源を入れたときや、ソースを選択したり切り換えたときには、画面の上部に情報プレートが表示されます。

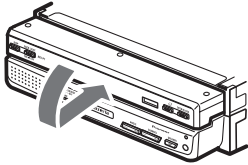


情報プレートの左端にはソースアイコンがあり、現在選択しているソースが表示されます。また、ソースアイコンの右側には、選択したソースに応じて、再生時間やチャンネルなどのさまざまな情報が表示されます。(詳しくは、各ソースの説明をご覧ください。)

表示する内容が、一度に表示しきれない場合は、DISPボタンを押すたびに表示が切り換わります。また、テレビやDVD、ビデオCDなどの映像ソースでは、情報プレートや時計表示は、約8秒後に自動的に消えます。情報プレートを表示したいときは、DISPボタンを押してください。

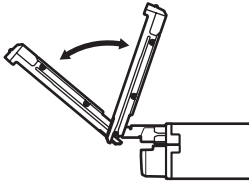
モニターの操作

モニターの収納



OPEN/CLOSEボタンを押すと、モニターを収納することができます。

モニターの角度調節

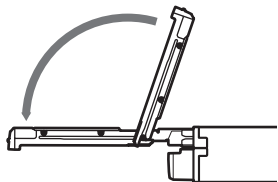


車外からの光が画面に反射しているときなどは、本体のANGLEボタンを押して、見やすくなるようにモニターの角度を調節することができます。

角度調節は、手で行わないでください。モニターに強い力が加わると、故障することがあります。

モニターを一時的に手前に倒す

モニターの背後にあるスイッチを操作したいときなどは、本体の一時可倒ボタンを押すと、モニターを一時的に手前に倒すことができます。



ボタンを押すとモニターが一時的に手前に倒れ、約10秒後に自動的に元に戻ります。

- モニターが完全に収納されたことを確認してください。モニターが途中で止まってしまった場合、OPEN/CLOSEボタンを押して必ず収納してください。（そのまま放置しないでください。故障することがあります。）
- モニターは、自動開閉機能により次のように動作します。
 - －エンジンスイッチをON（またはACC）にすると、自動的にモニターが立ち上がります。車のエンジンスイッチをOFFにすると、OFFにしてから約6秒後にモニターが本体に収納されます。
 - －自動開閉機能を、OFFにすることもできます。（→54ページ）
- 本体にモニターを収納して車のエンジンスイッチをOFFにしたときは、再びエンジンスイッチをON（またはACC）にしても、モニターは立ち上がりません。OPEN/CLOSEボタンを押して立ち上げてください。
- モニターが車のコンソールやダッシュボードに当たる場合は、ANGLEボタンの（-）側を押して、モニターを手前に調節してください。
- 立ち上がったモニターを後ろに下げることができます。（→54ページ）
- 角度調節したモニターを立ち上げたときは、自動的に調節した角度になります。

聞きたいソース（音源）を選ぶ（SOURCE）

ソースを切り換える

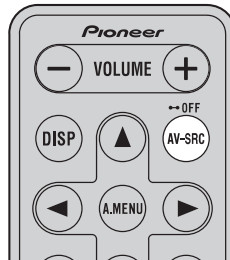
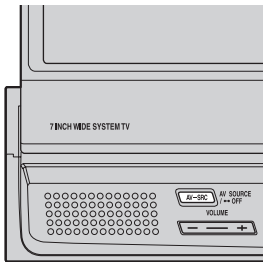
1 メインユニットのSOURCEボタンを押す

テレビまたはAVになるまで繰り返し押します。（→メインユニットの取扱説明書）

- テレビを選んだ場合、次の操作は必要ありません。
- ソースとして、AVがない場合は、本機に接続したビデオやナビゲーションはエクスターナルユニットになります。

2 AVソースボタンを押す

押すごとに、本機に接続されているソースが切り換わります。



AV-1（ビデオ1）→ AV-2（ビデオ2）→ ナビゲーションユニットのソース1 → ナビゲーションユニットのソース2

- 接続していないソースには切り換わりません。
- ビデオ入力1、2の設定を「VIDEO」にしないと、AV-1やAV-2には切り換わりません。（→51、52ページ）

ソースをOFFにする

1 メインユニットのSOURCEボタンを長く（約1秒）押す

メインユニットの電源が切れます。

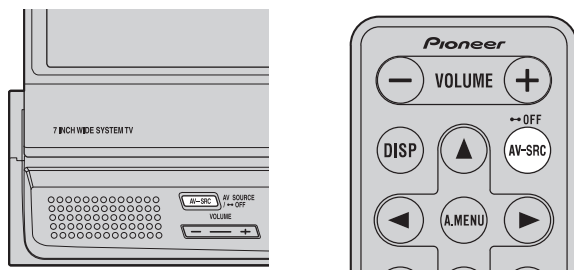
- AVソースボタンを長く（約1秒）押すと、本機はOFFになりますが、メインユニットの電源はOFFになりません。
- モニターは立ち上がったまま、情報プレートに「POWER OFF」が表示されます。

聞きたいソース（音源）を選ぶ（MASTER）

ソースを切り換える

1 AVソースボタンを押す

押すごとに、ソースが切り換わります。



テレビ → AV-1（ビデオ1）→ AV-2（ビデオ2）→ マルチDVD／1枚型DVD（別売）→ マルチCD（別売）→ EXT-1*1（エクスターナルユニット1）→ EXT-2*1（エクスターナルユニット2）→ AUX（外部機器）→ ナビゲーションユニットのソース1 → ナビゲーションユニットのソース2

- 接続していないソースには切り換わりません。
- CDやDVDがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
- ビデオ入力1、2の設定を「VIDEO」にしないと、AV-1やAV-2には切り換わりません。（→51、52ページ）
- AUX（外部機器）の設定をONにしないと、AUXには切り換わりません。（→48ページ）

*1 エクスターナルユニット（EXT）とは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品（将来発売される製品など）の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機では、2台のエクスターナルユニットをコントロールすることができますが、EXT-1、EXT-2のどちらに切り換えても「EXT」が表示されます。2台のエクスターナルユニットを接続した場合、本機によって、EXT-1、EXT-2が自動的に設定されます。

ソースをOFFにする

1 AVソースボタンを長く（約1秒）押す

ソースがOFFになります。モニターは立ち上がったまま、情報プレートのソースアイコンに「OFF」が表示されます。

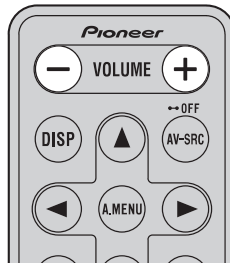
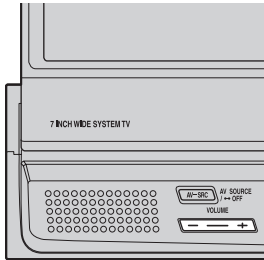
音の調整をする

内蔵スピーカーの音量を調節する

1 VOLUMEボタンを押す

0～30の範囲で調節することができます。

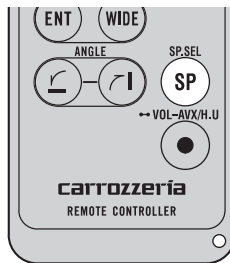
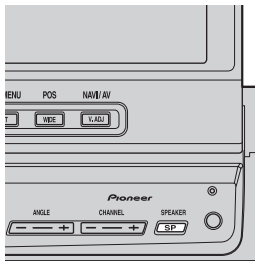
約4秒間、音量が表示されます。



内蔵スピーカーから出力する音声を切り換える

1 SPボタンを押す

押すごとに、出力される音声が切り換わります。



AUDIO (ソースの音声のみ) → MIX (ソースの音声とナビゲーションの音声案内) → NAVI (ナビゲーションの音声案内のみ) → OFF (音声出力OFF)

ナビゲーションを接続していない場合、「MIX」や「NAVI」には切り換わりません。

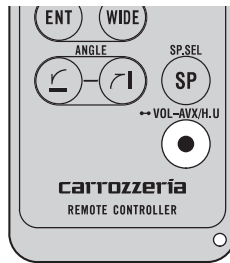
メインユニットの音量を調節する (SOURCE)

リモコンのVOLUMEボタンで、メインユニットの音量を調節できるようになります。

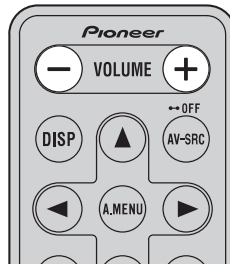
1 VOLUMEボタン切り換えボタンを長く (約2秒) 押す

リモコンのVOLUMEボタンでメインユニットの音量を調節できるようになります。

内蔵スピーカーの音量を調節できるようにするには、もう一度VOLUMEボタン切り換えボタンを長く (約2秒) 押します。



2 リモコンのVOLUMEボタンを押す



本体のVOLUMEボタンでは、メインユニットの音量は調節できません。本体のVOLUMEボタンは、内蔵スピーカーの音量調節専用です。

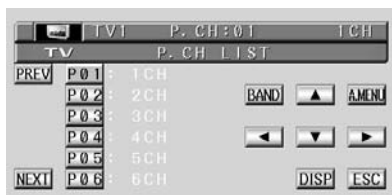
タッチキーの基本操作 (MASTER)

タッチキーを表示する

1 画面にタッチする (例：テレビの場合)

タッチキーが表示されます。

表示されるタッチキーは、選んでいるソースやモードによって異なります。



2 操作したい機能のタッチキーにタッチする

例：

「▶」にタッチすると、次のチャンネルを選局します。

「→」にタッチすると、次のタッチキー表示に切り換えることができます。

3 操作が終わったら、「ESC」にタッチする

タッチキーが画面から消えます。

タッチキー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、タッチキーは画面から消えます。

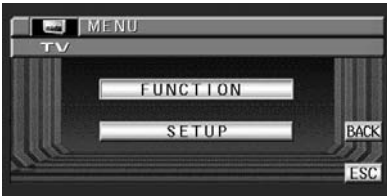
メニュー操作の基本 (MASTER)

本機では、メインメニューから各ソースのさまざまな操作や設定を行います。

1 「A.MENU」にタッチする

メインメニューが表示されます。

- ナビゲーションユニットのソースを選んでいる場合、操作できません。
- タッチキーが表示されていない場合は、画面にタッチしてタッチキーを表示してください。
- ソース画面のときに、A.MENUボタンを押すことでも、メインメニューを表示することができます。



2 操作したいメニューのタッチキーにタッチする

タッチしたメニューが表示されます。

「FUNCTION」：ソースごとに割り当てられたFUNCTIONメニューが表示されます。

「SETUP」：本機の基本設定のSETUPメニューが表示されます。

- ▲/▼/◀/▶ボタンを押して、メニュー項目を選択してから、A.MENUボタンを押すことでもメニューを表示することができます。
- ▲/▼/◀/▶ボタンで選択されている項目は、黄色い枠が表示されます。
- 現在設定されている項目は、黄色く点灯します。

3 操作が終わったら、「ESC」にタッチする

ソース画面に戻ります。

- 「BACK」にタッチするか、BACKボタンを押すと、前の画面（一階層上のメニュー）に戻ります。
- 「NEXT」は、項目に次ページがある場合に表示され、タッチすると次ページに切り換わります。
- 「PREV」は、タッチすると「NEXT」で表示したページから前のページに戻ります。
- メニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

テレビ (SOURCE)

組み合わせるメインユニットについて

本機をSOURCEモード (S) で使用する場合、テレビは組み合わせたメインユニットから操作します。(一部の機能は、付属のリモコンでも操作できます。)

「DVH-P077」と組み合わせる場合

本書では、メインユニットとして「DVH-P077」を例にテレビの操作説明を行っています。

「DVH-P077」以外のメインユニットと組み合わせる場合

FUNCTIONボタンでファンクションモードを切り換えて操作するメインユニットと組み合わせる場合

「メインユニットのボタン名称」を参照して、「DVH-P077」と対応しているボタンで操作してください。

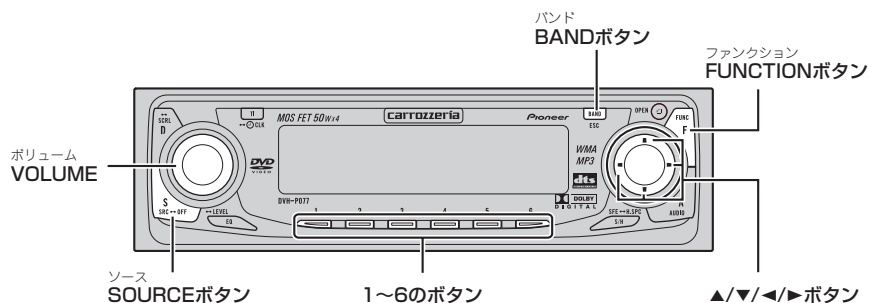
例： MEH-P077 MEH-P055 DEH-P088 DEH-P077
 DEH-P055 FH-P077MD FH-P055MD

セレクションキー／ロータリーコマンダー／ロータリーセレクターなどで操作するメインユニットと組み合わせる場合

メインユニットの取扱説明書にテレビの操作説明が記載されていますので、そちらをご覧ください。

例： FH-P099MD FH-P009MD MEH-P919 DEH-P919
 DEH-P099 DEH-P7 DEX-P01 RS-D7XII

メインユニットのボタン名称



テレビを見る

停車中で、パーキングブレーキがかかっているときに、テレビの映像を見られます。走行中は安全のため、テレビの映像は表示されません。(音声を聞くことはできません。)

テレビ (TV) に切り換える

1 SOURCEボタンを押して、テレビにする

ソースを切り換えると、情報プレートが、約8秒間表示されます。

バンドを切り換える

本機はTV1、TV2と2つのバンドを持っています。

1 BANDボタンを押す

押すたびに、TV1→TV2と切り換わります。

チャンネルを選んで、テレビを見る

選局は、◀/▶ボタンの操作によるマニュアル選局と、▲/▼ボタンの操作によるプリセットチャンネル選局とがあります。

マニュアル選局で選ぶ

1 ◀/▶ボタンを押す

チャンネルが切り換わります。

- 本機のCHANNELボタンで操作することもできます。
- ピッと音がするまでボタンを押すと、SEEKモードになります。SEEKモードとは、受信状態の良い放送局で自動的に止まる機能です。SEEKを止めるときは、もう一度ボタンを押します。
- 1～6のボタンを長く押すと (約2秒)、選択中のバンドのプリセットチャンネル1～6に受信中のチャンネルを登録することができます。(手動では、プリセットチャンネル7～12に登録することはできません。)

プリセットチャンネルから選ぶ

プリセットチャンネルは、あらかじめ登録されたチャンネルです。

1 ▲/▼ボタンを押す

プリセットチャンネルが切り換わります。

- 1～6のボタンを押して、プリセットチャンネル1～6を直接選ぶこともできます。
- 1～6のボタンを長く押すと (約2秒)、選択中のバンドのプリセットチャンネル1～6に受信中のチャンネルを登録することができます。(手動では、プリセットチャンネル7～12に登録することはできません。)

いろいろな操作

受信状態の良いチャンネルの自動選局や2カ国語放送の音声切り換えなどの操作は、モードを切り換えて操作します。

FUNCTIONモードを切り換える

1 FUNCTIONボタンを押して、ファンクションモードを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

BSSMモード



主音声／副音声切り換えモード



BSSMモードに戻る

ファンクションモードを解除するには、BANDボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも自動的に解除されます。)

受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる

受信状態の良いチャンネルを、自動的にチャンネルの小さい順に、1～12の記憶番号に記憶させます。

1 BANDボタンを押して、記憶させたいバンドを選ぶ

2 FUNCTIONボタンを押して、BSSMモードにする

3 ▲ボタンを押す



BSSMが始まります。

BSSM中は、画面に「BSSM」が点滅します。BSSMが終了すると、1の記憶番号に記憶したチャンネルを受信します。

- 受信状態の良いチャンネルが12局より少ないときは、以前に記憶したチャンネルが残ることがあります。
- BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。

2カ国語放送の音声を切り換える

2カ国語放送（音声多重放送）を受信しているときは、音声を切り換えることができます。

1 FUNCTIONボタンを押して、主音声／副音声切り換えモードにする

現在の音声の設定が表示されます。

2 ◀または▶ボタンを押す



ボタンを押すごとに、以下のように切り換わります。

MAIN（主音声）→SUB（副音声）→M+S
（主音声＋副音声）

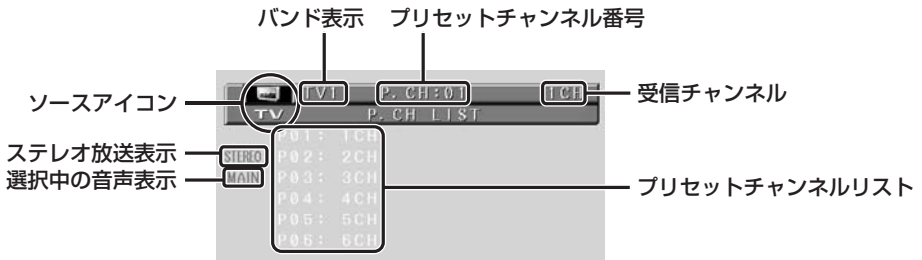
- 洋画やニュースの2カ国語放送のように、2種類の音声を持った放送のことを音声多重放送といいます。
- 2カ国語放送の場合は、一般に主音声を日本語、副音声を外国語（例：英語）で放送しています。（逆の場合もあります。）

テレビ (MASTER)

テレビを見る

基本的なテレビ画面の見かた

テレビを見るときには、以下のような情報が表示されます。
情報プレートは、DISPボタンを押すと表示されます。



停車中で、パーキングブレーキがかかっているときに、テレビの映像を見られます。走行中は安全のため、テレビの映像は表示されません。(音声を聞くことはできます。)

テレビ (TV) に切り換える

1 AVソースボタンを押して、テレビにする

ソースを切り換えると、情報プレートとプリセットチャンネルリストが、約8秒間表示されます。

情報プレートとプリセットチャンネルリストは、ソース画面で▲/▼/◀/▶ボタンを押したときも表示されます。

タッチキーを表示する

1 画面にタッチする

バンドを切り換える

本機はTV1、TV2と2つのバンドを持っています。

1 「BAND」 にタッチする

タッチするたびに、TV1→TV2と切り換わります。

チャンネルを選んで、テレビを見る

選局は、マニュアル選局とプリセットチャンネル選局とがあります。

マニュアル選局で選ぶ

1 「◀」 / 「▶」 にタッチする

チャンネルが切り換わります。

- ◀/▶ボタンやCHANNELボタンで操作することもできます。
- ピッと音がするまで長くタッチすると、SEEKモードになります。SEEKモードとは、受信状態の良い放送局で自動的に止まる機能です。SEEKを止めるときは、もう一度「◀」 / 「▶」 にタッチします。

プリセットチャンネルから選ぶ

プリセットチャンネルは、あらかじめ登録されたチャンネル(→32ページ)で、バンドごとにそれぞれ12局まで登録できます。

1 「▲」 / 「▼」 にタッチして、リストから見たいチャンネルを選ぶ

プリセットチャンネルリストは、プリセットチャンネル1～6と7～12の6チャンネルずつ表示されます。

▲/▼ボタンで操作することもできます。

プリセットチャンネルリストへ登録する (P. CH LIST)

バンドごとに、それぞれ12局まで登録することができます。お好みのチャンネルをお好みの順番で登録することができます。

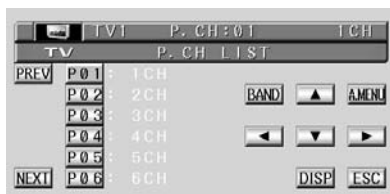
1 「BAND」にタッチして、記憶させたいバンドを選ぶ

プリセットチャンネルリスト表示は、「DISP」にタッチするごとにON/OFFします。

2 「◀」/「▶」にタッチして、登録したいチャンネルを選局する

ピッと音がするまで長くタッチすると、SEEKモードになります。SEEKモードとは、受信状態の良い放送局で自動的に止まる機能です。SEEKを止めるときは、もう一度「◀」/「▶」にタッチします。

3 P01～P12の1つに長く（約2秒）タッチする



選んだタッチキーが黄色く点灯し、登録が完了します。

「NEXT」にタッチすると、次の6つの放送局に表示が切り換わります。

「PREV」にタッチすると、前の6つの放送局に表示が切り換わります。

- 続けて登録することができます。
- タッチキーを消すには、「ESC」にタッチしてください。
- P01～P12の1つにタッチすると、登録したチャンネルを呼び出すことができます。

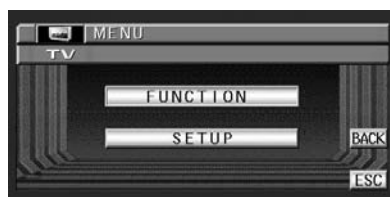
いろいろな操作

受信状態の良いチャンネルの自動選局や2カ国語放送の音声切り換えなどの操作は、FUNCTIONメニューを表示して行います。

FUNCTIONメニューを表示する

1 「A.MENU」にタッチする

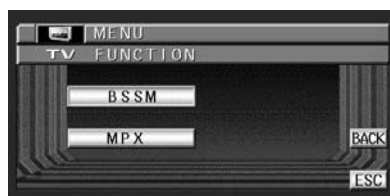
メインメニューが表示されます。



タッチキーが表示されていない場合は、画面にタッチしてタッチキーを表示してください。

2 「FUNCTION」にタッチする

FUNCTIONメニューが表示されます。



- 「ESC」にタッチするか、BD/ESCボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- 「BACK」にタッチするか、BACKボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- FUNCTIONメニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる (BSSM)

受信状態の良いチャンネルを、自動的にチャンネルの小さい順に、1～12の記憶番号に記憶させます。

1 「BAND」にタッチして、記憶させたいバンドを選ぶ

2 「A.MENU」、「FUNCTION」、「BSSM」の順にタッチする

BSSM機能の選択項目(「ON」「OFF」)が表示されます。

3 「ON」にタッチする



BSSMが始まります。

BSSM中は、画面に「BSSM」が点滅します。BSSMが終了すると、「OFF」が点灯した状態に戻ります。

- 受信状態の良いチャンネルが12局より少ないときは、以前に記憶したチャンネルが残ることがあります。
- BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。

2カ国語放送の音声を切り換える (MPX)

2カ国語放送(音声多重放送)を受信しているときは、音声を切り換えることができます。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「MPX」の順にタッチする

現在の音声の設定が表示されます。

2 「◀▶」にタッチする



タッチするたびに、設定が以下のように切り換わります。

MAIN (主音声) → SUB (副音声) → MAIN + SUB (主音声 + 副音声)

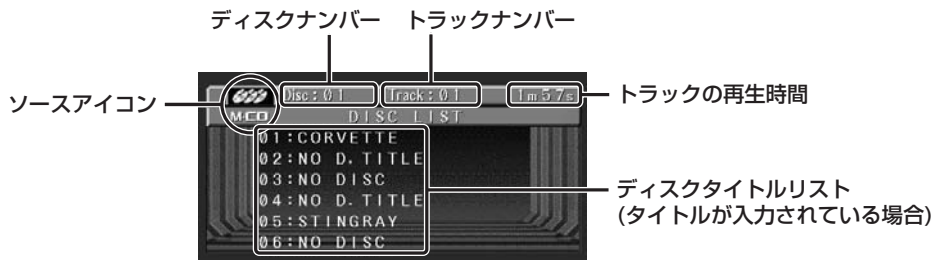
- 洋画やニュースの2カ国語放送のように、2種類の音声を持った放送のことを音声多重放送といいます。
- 2カ国語放送の場合は、一般に主音声を日本語、副音声を外国語(例:英語)で放送しています。(逆の場合もあります。)

マルチCD (MASTER)

マルチCDでCDを聞く

基本的なマルチCD画面の見かた

マルチCDを聞くときの画面には、以下のような情報が表示されます。



マルチCD (M-CD) に切り換える

1 AVソースボタンを押して、マルチCDプレーヤー (M-CD) にする

情報プレートとディスクリストが表示されます。



タッチキーを表示する

1 画面にタッチする

ディスクを選ぶ

1 01~12の1つにタッチする



選んだタッチキーが黄色く点灯します。

「NEXT」にタッチすると、次の6つのディスクタイトルが表示が切り換わります。

「PREV」にタッチすると、前の6つのディスクタイトルが表示が切り換わります。

タッチキーを消すには、「ESC」にタッチしてください。

ディスクを切り換える

1 「▲」 / 「▼」 にタッチして、聞きたいディスクを選択する

ディスクリストは1~6枚目と7~12枚目の6枚ずつ表示されます。

- ▲/▼ボタンで操作することもできます。
- マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると「READY」が表示されます。
- マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、「NO MAGAZINE」が表示されます。

早戻し/早送りする

1 「◀」 / 「▶」 にタッチする

タッチしている間、早戻し/早送りができます。

- ◀/▶ボタンで操作することもできます。押し続けている間、早戻し/早送りができます。

トラックの選択 (頭出し) をする

1 「◀」 / 「▶」 にタッチする

「◀」にタッチすると、現在再生中の曲の頭出しができ、「▶」にタッチすると、次の曲の頭出しができます。

またタッチキーに数回タッチすると、タッチした回数分の曲を飛ばして頭出しを行うことができます。

- ◀/▶ボタンで操作することもできます。押し続けると、頭出しができます。押した回数分の曲を飛ばして頭出しをすることもできます。

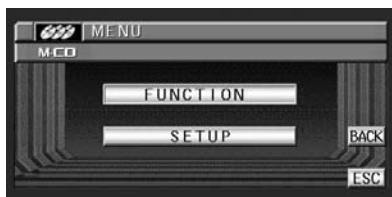
いろいろな再生をする

リピートやランダムなど、いろいろな再生の操作は、FUNCTIONメニューを表示して行います。

FUNCTIONメニューを表示する

1 「A.MENU」にタッチする

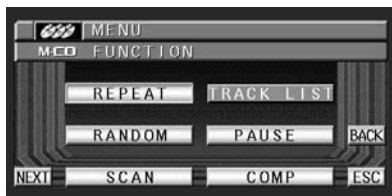
メインメニューが表示されます。



タッチキーが表示されていない場合は、画面にタッチしてタッチキーを表示してください。

2 「FUNCTION」にタッチする

FUNCTIONメニューが表示されます。



- ・「ESC」にタッチするか、BD/ESCボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- ・「BACK」にタッチするか、BACKボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- ・FUNCTIONメニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

リピート再生する (REPEAT)

リピート再生には、マルチCD全体を繰り返す「M-CD」と現在再生中の曲を繰り返す「TRACK」、ディスク全体を繰り返す「DISC」があります。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、 「REPEAT」の順にタッチする

2 「◀▶」にタッチして、リピート範囲を 選択する



タッチするたびに以下のように切り換わります。

「M-CD」→「TRACK」→「DISC」

ランダム再生をする (RANDOM)

曲を順不同 (ランダム) に再生します。

1 「REPEAT」にして、リピート範囲を選択する

選択したリピート範囲内でランダム再生が行われます。

2 「BACK」にタッチする

3 「RANDOM」にタッチする

ランダム機能のタッチキー (「ON」「OFF」) が表示されます。

4 「ON」にタッチする



選択した範囲内で、ランダム再生が始まります。

ランダム再生を止めるときは、「OFF」にタッチします。

- ランダム再生中の情報は、ソース画面に常に表示されます。
- トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、リピート範囲がディスクリピートに切り換わり、ランダム再生します。

再生を一時停止 (ポーズ) する (PAUSE)

再生を一時停止します。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「PAUSE」の順にタッチする

ポーズ機能のタッチキー (「ON」「OFF」) が表示されます。

2 「ON」にタッチする



再生が一時停止します。

一時停止を解除し、再び再生を始めるときは、「OFF」にタッチします。

スキャン再生する (SCAN)

今聞いているディスクの、曲の始めの部分だけを約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのディスクの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

1 「REPEAT」にして、リピート範囲を選択する (→36ページ)

聞きたい曲をさがすとき
(トラックスキャン再生)

再生範囲をディスクリピートに切り換えます。再生中のディスクの全曲を、約10秒ずつ再生することができます。

聞きたいディスクをさがすとき
(ディスクスキャン再生)

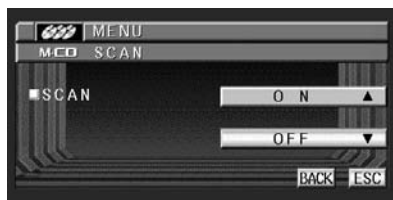
再生範囲をマルチCDリピートに切り換えます。マルチCD内のすべてのディスクの1曲目だけを、約10秒ずつ再生することができます。

2 「BACK」にタッチする

3 「SCAN」にタッチする

スキャン機能のタッチキー (「ON」「OFF」) が表示されます。

4 「ON」にタッチする



スキャン再生が始まります。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にソース画面に戻ります。

5 聞きたい曲 (ディスク) が再生されたら、「SCAN」にして、「OFF」にタッチする

- スキャン再生を始めた曲 (またはディスク) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わりトラックスキャン再生します。
- スキャン再生中の情報は、ソース画面に常に表示されます。

CDの音質を調整する (COMP)

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりします。

COMP/DBE機能付きのマルチCDプレーヤーを接続したときに操作できます。

COMPについて

COMPとは、Compressionの略で、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞き取りにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasisの略で車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「COMP」の順にタッチする

COMP/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、「NO COMP」が表示されて、操作ができません。

2 「◀▶」にタッチして、設定する項目を選択する



タッチするたびに以下のように切り換わります。

「COMP OFF」→「COMP 1」→「COMP 2」
→「COMP OFF」→「DBE 1」→「DBE 2」
→「COMP OFF」

COMP、DBEともに、1より2のほうが効果が大きくなります。

リストからトラック名で選んで再生する (TRACK LIST)

「CD TEXT」再生中に、トラック (曲名) のリストを表示して、聞きたい曲を選択することができます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」を再生しているときに操作できます。

1 「A.MENU」、 「FUNCTION」、 「TRACK LIST」の順にタッチする

トラック名のリストが表示されます。

2 聞きたい曲名にタッチする



選んだ曲の再生が始まります。リストは一度に6トラックを表示します。

「NEXT」にタッチすると、次の6トラックに表示が切り換わります。

「PREV」にタッチすると、前の6トラックに表示が切り換わります。

タイトルを入力する (TITLE EDIT)

CDにタイトルを入力することができます。また、入力したタイトルを表示することができます。

タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、画面に表示させる機能です。

- タイトルは10文字まで入力できます。
- タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。
- タイトルは、ITS (「ITSリストを作る」→42ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。
- 100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 タイトルを入力したいディスクを再生する

2 「A.MENU」、「FUNCTION」、「NEXT」の順にタッチする

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。



3 「TITLE EDIT」にタッチする

タイトル入力画面が表示されます。



「CD TEXT」に対応しているマルチCD「CDX-P670」などで「CD TEXT」を再生しているときは、「TITLE EDIT」を選択できません。（「CD TEXT」に収録されているCDタイトルは変更できません。）

4 「ABC」にタッチして、入力する文字種を切り換える

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

アルファベットの大文字 (A~Z) → アルファベットの小文字 (a~z)

- 「123」にタッチすると、数字と記号 (0~9, ! " # など) に切り換えることができます。
- A.MENUボタンを押すことでも、アルファベットの大文字 (A~Z) と、アルファベットの小文字 (a~z) を切り換えることができます。
- A.MENUボタンを長く押す (約2秒) たびに、アルファベットと、数字と記号 (0~9, ! " # など) が切り換わります。

5 「▲」 / 「▼」にタッチして、入力する文字や記号を選択する



6 「◀」 / 「▶」にタッチして、入力する位置を移動する

7 入力が終わったら、「OK」にタッチする

入力したタイトルが記憶されます。

「▶」にタッチして、カーソルを改行マーク (↓) まで移動させることで、入力したタイトルを記憶させることもできます。

8 「ESC」にタッチして、ソース画面に戻る

マルチCD (MASTER)

ディスクタイトル表示

CDに入力したタイトルを表示することができます。

1 「DISP」にタッチする

タッチするたびに以下のように切り換わります。

ディスクタイトルリスト (DISC LIST) → ディスクタイトル (D.Title)

「CD TEXT」の情報表示

「CD TEXT」とは

- CDのタイトルや歌手名などの文字情報が収録されているCDです。ディスクタイトル面に下記のマークの付いているCDは「CD TEXT」ディスクです。下記マークの付いていない「CD TEXT」ディスクもあります。



タイトル表示について

本機の「CD TEXT」文字情報は、英数字のみに対応しています。

タイトル表示を切り換える

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」再生中に、ディスクタイトルやトラックタイトルなどの文字情報を表示させることができます。一度に19文字まで表示させることができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

1 「CD TEXT」再生中に、「DISP」にタッチする

タッチするたびに以下のように切り換わります。

ディスクタイトルリスト (DISC LIST) → ディスクタイトル (D.Title) → ディスクアーティストネーム (D.Artist) → トラックタイトル (T.Title) → トラックアーティストネーム (T.Artist)

- トラックアーティストネーム (歌手名) などが収録されていないCDで表示を切り換えると、「NO ARTIST」などが表示されます。
- 「DISP」に長くタッチすると (約2秒)、隠れているタイトルをスクロール表示できます。

ITSを使う

あらかじめ聞きたい曲をITSで記憶させると、記憶させた曲だけを再生できます。

ITSについて

- ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション) の略です。ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (「ITSリストから再生する」→42ページ) 機能です。
- 曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。
- CD1枚につき99曲まで記憶することができます。(「CDX-P1250」「CDX-P650」以前に発売されたマルチCDでは、記憶できる曲が24曲目までになります。)
- ITSは、タイトル (「タイトルを入力する」→39ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。
- 100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

ITSリストを作る (ITS MEMORY)

1 ITSに記憶したい曲の入ったディスクを再生する

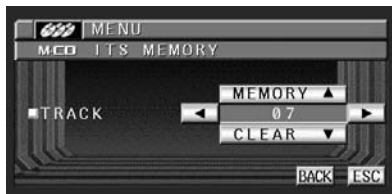
2 「A.MENU」、「FUNCTION」、「NEXT」の順にタッチする

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。



3 「ITS MEMORY」にタッチする

4 「◀」 / 「▶」にタッチして、記憶したい曲を選択する



5 「MEMORY」にタッチして、曲を記憶させる

選択した曲がリストに入ります。

6 「ESC」にタッチして、ソース画面に戻る

ITSリストから再生する (ITS PLAY)

選択した範囲から、ITS記憶させた曲だけを再生します。

1 「REPEAT」にして、リピート範囲を選択する (→36ページ)

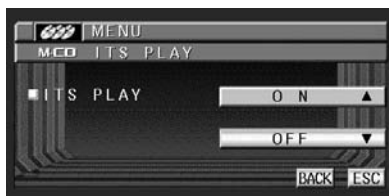
2 「BACK」、「NEXT」の順にタッチする

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。

3 「ITS PLAY」にタッチする

ITS機能のタッチキー（「ON」「OFF」）が表示されます。

4 「ON」にタッチする



選択した範囲内でITS記憶された曲が再生されます。

ITS再生を止めるときは、「OFF」にタッチします。

手順1で選択した再生範囲内に記憶させた曲がない場合は、「ITS EMPTY」が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

ITSリストから1曲ずつ削除する

1 ITSリストから削除したい曲の入ったディスクをITS再生する

2 「A.MENU」、「FUNCTION」、「NEXT」の順にタッチする

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。

3 「ITS MEMORY」にタッチする

4 「◀」/「▶」にタッチして、削除したい曲を選択する



5 「CLEAR」にタッチして、曲を削除する

選択した曲がリストから削除されます。

6 「ESC」にタッチして、ソース画面に戻る

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合、「ITS EMPTY」が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

ITSリストからディスクごとに削除する

1 ITS再生をOFFにして、ITSリストから削除したいディスクを再生する

2 「A.MENU」、「FUNCTION」、「NEXT」の順にタッチする

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。

3 「ITS MEMORY」にタッチする

4 「CLEAR」にタッチして、曲を削除する

選択したディスク内でITS記憶させた曲が全てリストから削除されます。

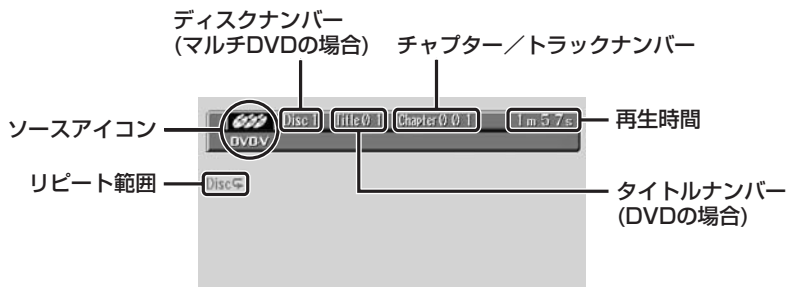
5 「ESC」にタッチして、ソース画面に戻る

マルチDVD／1枚型DVD (MASTER)

ディスクを再生する

基本的なマルチDVD／1枚型DVD画面の見かた

マルチDVD／1枚型DVDを見る（聞く）ときの画面には、以下のような情報が表示されます。



DVDプレーヤーについて

ここでは、本機での操作を説明しています。DVDやビデオCD特有の機能は、本機では操作できません。DVDプレーヤーの機能や操作について、詳しくは組み合わせたDVDプレーヤーやマルチDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

DVDプレーヤーを見るためには、「AV INPUT1」を「M-DVD」に設定します。(→51ページ)

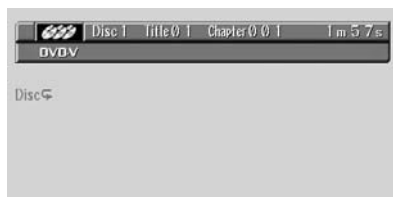
停車中で、パーキングブレーキがかかっているときに、DVDプレーヤーの映像を見られます。走行中は安全のため、DVDプレーヤーの映像は表示されません。(音声を聞くことができます。)

DVDビデオ、ビデオCDやCDが再生できます。

DVDプレーヤー (S-DVD) に切り換える

1 AVソースボタンを押して、DVDプレーヤー (S-DVD) にする

ソースを切り換えると、情報プレートが表示されます。



タッチキーを表示する

1 画面にタッチする

ディスクを切り換える (マルチDVDの場合)

マルチDVDを接続した場合は、ディスクを切り換えることができます。

1 「▲」 / 「▼」 にタッチして、見たい (聞きたい) ディスクを選択する

▲/▼ボタンで操作することもできます。

早戻し / 早送りする

1 「◀」 / 「▶」 にタッチする

タッチしている間、早戻し / 早送りができます。

トラック (チャプター) の選択 (頭出し) をする

1 「◀」 / 「▶」 にタッチする

「◀」にタッチすると、現在再生中のトラック (チャプター) の頭出しができ、「▶」にタッチすると、次のトラック (チャプター) の頭出しができます。

またタッチキーに数回タッチすると、タッチした回数分のトラック (チャプター) を飛ばして頭出しを行うことができます。

いろいろな再生をする

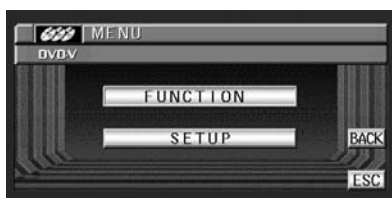
リピートやランダムなど、いろいろな再生の操作は、FUNCTIONメニューを表示して行います。

接続したプレーヤーおよびディスクの種類によっては、操作できない機能もあります。

FUNCTIONメニューを表示する

1 「A.MENU」にタッチする

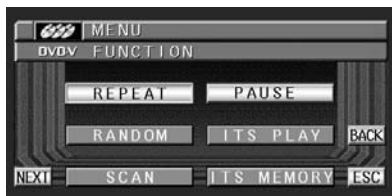
メインメニューが表示されます。



タッチキーが表示されていない場合は、画面にタッチしてタッチキーを表示してください。

2 「FUNCTION」にタッチする

FUNCTIONメニューが表示されます。



- ・「ESC」にタッチするか、BD/ESCボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- ・「BACK」にタッチするか、BACKボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- ・FUNCTIONメニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

リピート再生する (REPEAT)

リピート再生は、繰り返し再生する範囲を選択できます。

ビデオCDのPBC再生中は、リピート範囲の切り換えはできません。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、 「REPEAT」の順にタッチする

2 「◀▶」にタッチして、リピート範囲を選択する



タッチするたびに以下のように切り換わります。

DVDビデオ：
「CHAPTER」→「TITLE」→「DISC」

ビデオCD、CD：
「TRACK」→「DISC」

ランダム再生をする (RANDOM)

CDを再生しているときだけ、ランダム再生できます。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、 「RANDOM」の順にタッチする

ランダム機能のタッチキー（「ON」「OFF」）が表示されます。

2 「ON」にタッチする



ランダム再生が始まります。

ランダム再生を止めるときは、「OFF」にタッチします。

再生を一時停止 (ポーズ) する (PAUSE)

再生を一時停止します。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「PAUSE」の順にタッチする

ポーズ機能のタッチキー（「ON」「OFF」）が表示されます。

2 「ON」にタッチする



再生が一時停止します。

一時停止を解除し、再び再生を始めるときは、「OFF」にタッチします。

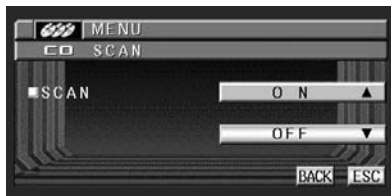
スキャン再生する (SCAN)

CDを再生しているときだけ、スキャン再生できません。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「SCAN」の順にタッチする

スキャン機能のタッチキー（「ON」「OFF」）が表示されます。

2 「ON」にタッチする



スキャン再生が始まります。

3 聞きたい曲が再生されたら、「SCAN」にして、「OFF」にタッチする

ITS再生について

マルチDVDプレーヤーを接続した場合、ITS再生をすることができます。（マルチDVDプレーヤーのITS再生は、再生しているCD内でのみ行われます。）

操作方法は、マルチCDと同様です。詳しくはマルチCDの「ITSを使う」（→41ページ）をご覧ください。

CDのタイトルを入力する

CDにタイトルを入力することができます。また、入力したタイトルを表示することができます。

- タイトルは10文字まで入力できます。操作方法は、マルチCDと同様です。詳しくはマルチCDの「タイトルを入力する」（→39ページ）をご覧ください。

各種の設定

各種の設定をする

本機には、ソースのON/OFFに関わらず操作できる基本設定「SETUP」があります。また、MASTERモード(M)で使用している場合には、ソースOFFのときに操作できる初期設定「INITIAL」もあります。

初期設定 (MASTER)

本機をMASTERモード(M)で使用している場合のみ操作することができます。

外部機器の音声を聞く (AUX)

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。

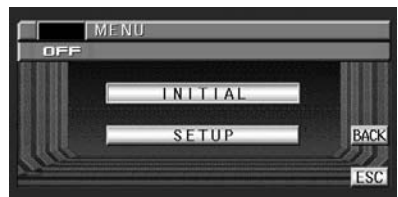
詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

1 AVソースボタンを長く(約1秒)押し、ソースをOFFにする

情報プレートに「OFF」が表示されます。

2 「A.MENU」にタッチする

メインメニューが表示されます。



タッチキーが表示されていない場合は、画面にタッチしてタッチキーを表示してください。

3 「INITIAL」にタッチする

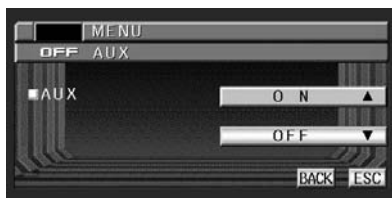
初期設定メニューが表示されます。



4 「AUX」にタッチする

設定のタッチキー（「ON」「OFF」）が表示されます。

5 「ON」にタッチする



外部機器が「AUX」ソースとして設定されます。

AUXをOFFにするには、「OFF」にタッチします。

6 AVソースボタンを押して、AUXにする

- 「ESC」にタッチするか、BD/ESCボタンを押すと、ソースOFFに戻ります。
- 「BACK」にタッチするか、BACKボタンを押すと、前の画面に戻ります。

外部機器の名称を入力する

外部機器の名称を入力することができます。名称は10文字まで入力できます。

1 AVソースボタンを押して、AUXにする

2 「A.MENU」、「FUNCTION」、「NAME EDIT」の順にタッチする

名称の入力画面が表示されます。



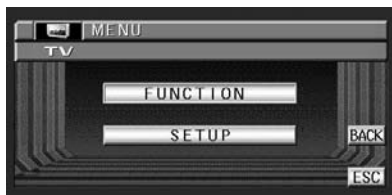
以降は、マルチCDの「タイトルを入力する」(→39ページ)の手順で、名称を入力します。

基本設定

基本設定メニューを表示する (MASTER)

1 「A.MENU」にタッチする

メインメニューが表示されます。



タッチキーが表示されていない場合は、画面にタッチしてタッチキーを表示してください。

2 「SETUP」にタッチする

基本設定メニューが表示されます。



- 「ESC」にタッチするか、BD/ESCボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- 「BACK」にタッチするか、BACKボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 基本設定メニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

基本設定メニューを表示する (SOURCE)

1 「A.MENU」にタッチする

基本設定メニューが表示されます。



- タッチキーが表示されていない場合は、画面にタッチしてタッチキーを表示してください。
- 「ESC」にタッチするか、BD/ESCボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- 「BACK」にタッチするか、BACKボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 基本設定メニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

ビデオ入力1を設定する (AV INPUT1)

ビデオやDVDメインユニットなどの映像機器を本機に接続した場合、機器に合った設定に切り換えます。

1 基本設定メニューを表示する

2 「AV INPUT1」にタッチする

現在設定されている項目が表示されます。

3 「◀」 / 「▶」にタッチして、項目を選択する



- 「VIDEO」に設定すると、ソースを「AV-1」にしたときにビデオ機器の映像を見ることができます。
- 「DVD」に設定すると、ソースを「DVD」にしたときにDVDメインユニットの映像を見ることができます。(AV-1には、切り換わらなくなります。)
- 「DVD」は、本機をSOURCEモード (S) で使用している場合のみ選択することができます。
- 「M-DVD」に設定すると、ソースを「S-DVD」にしたときにマルチDVD / 1枚型DVDの映像を見ることができます。(AV-1には、切り換わらなくなります。)
- 「M-DVD」は、本機をMASTERモード (M) で使用している場合のみ選択することができます。

項目	内容
OFF	ビデオ入力に何も接続しない場合
VIDEO	ビデオ機器を接続した場合
DVD	DVDメインユニットを接続した場合
M-DVD	マルチDVD / 1枚型DVDを接続した場合

ビデオ入力2を設定する (AV INPUT2)

ビデオやバックカメラを本機に接続した場合、機器に合った設定に切り換えます。

1 基本設定メニューを表示する (→50ページ)

2 「AV INPUT2」にタッチする

現在設定されている項目が表示されます。

3 「◀」 / 「▶」にタッチして、項目を選択する



項目	内容
OFF	ビデオ入力に何も接続しない場合
VIDEO	ビデオ機器を接続した場合
B. CAMERA	バックカメラを接続した場合

「VIDEO」に設定すると、ソースを「AV-2」にしたときにビデオ機器の映像を見ることができます。

バックカメラの接続を設定する (B. CAMERA)

別売のバックカメラ「ND-BC1」を接続し、車のシフトレバーをR（リバース）に入れたとき、バックカメラの映像をモニターに映すことができます。

市販のバックカメラをお使いになる場合、左右反転出力機能のあるタイプをおすすめします。

1 基本設定メニューを表示する (→50ページ)

2 「AV INPUT2」にタッチする

現在設定されている項目が表示されます。

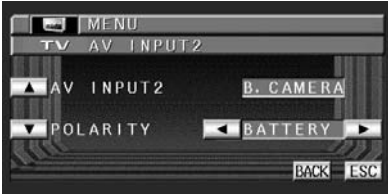
3 「▶」にタッチして、「B. CAMERA」を選択する



車のシフトレバーをR（リバース）の位置にしたときに、バックカメラの映像がモニターに表示されるように設定されます。

4 「▼」にタッチして、「POLARITY」を選択する

5 「◀」 / 「▶」 にタッチして、極性を選択する



項目	内容
BATTERY	車のシフトレバーをR（リバース）に入れた時にバック信号の電圧が「HIGH」になる場合
GND	車のシフトレバーをR（リバース）に入れた時にバック信号の電圧が「LOW」になる場合

- バックカメラの映像に正しく切り換わるように、必ずバック信号入力線を接続してください。
- 通常走行時、バックカメラ映像が表示されたり、シフトレバーをR（リバース）に入れた場合、バックカメラ映像が表示されない場合は、極性設定を確認してください。

バックカメラの映像を解除する

シフトレバーをR（リバース）の位置にし、バックカメラの映像を表示させているときに、バックカメラの映像を解除することができます。

1 V.ADJボタンを押す

リアモニターの表示を設定する (REAR DISP)

フロントモニターにナビゲーションの地図を表示しているときに、リアモニターにもナビゲーションの地図を表示するかどうかを設定することができます。

1 基本設定メニューを表示する (→50ページ)

2 「REAR DISP」にタッチする

現在設定されている項目が表示されます。

3 「◀」 / 「▶」 にタッチして、項目を選択する



項目	内容
SOURCE	選ばれているソースの映像
NAVI	ナビゲーションの地図

「SOURCE」を選択した場合に、音声ソース（CDなど）を選択すると、リアモニターには何も表示されません。

モニターの自動開閉／セットバックを設定する (FLAP SET)

車のエンジンスイッチをACC（またはON）やOFFにしたとき、モニターが自動的に開閉するかどうかを設定します。

また、立ち上がったモニターを後ろに下げることできます。

1 基本設定メニューを表示する (→50ページ)

2 「FLAP SET」にタッチする

設定の選択項目（「SET BACK」「AUTO FLAP」）が表示されます。

3 「▲」にタッチする



「ON」にすると同時にモニターが動きます。

セットバックを止めるには、「▼」にタッチします。

4 「◀」 / 「▶」にタッチして、項目を選択する

項目	内容
AUTO	自動開閉
MANUAL	手動開閉

シフトレバーなどにモニターが当たってしまう場合は、「MANUAL」に設定し、OPEN/CLOSE ボタンを押して、モニターを開閉します。

時計を設定する (CLOCK ADJ)

時計を合わせることができます。

1 基本設定メニューを表示する (→50ページ)

2 「CLOCK ADJ」にタッチする

時刻設定画面が表示されます。

3 「OFF」にタッチする

タッチキーが「ON」に変わり、時計表示がONになります。

時計表示をOFFにするには、「ON」にタッチします。

4 「▲」 / 「▼」 / 「◀」 / 「▶」にタッチして、時刻を設定する



「◀」 / 「▶」 : 時と分を選択するとき
「▲」 / 「▼」 : 時刻を調節するとき

「JUST」にタッチすると、時報に合わせることができます。

音声をFM付きカーステレオで聞く (FM TRANS)

テレビ、ビデオなどの音声をFM付きカーステレオで聞くことができます。また、FM放送と音量差を感じた場合は、FMトランスミッターのレベルを調節することもできます。

本機をMASTERモード (M) で使用し、ソースがONのときのみ操作することができます。

1 基本設定メニューを表示する (→50ページ)

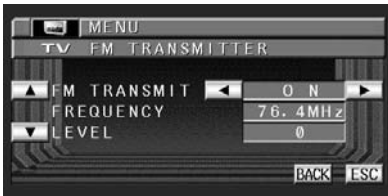
2 「FM TRANS」にタッチする

設定の選択項目 (「FM TRANSMIT」「FREQUENCY」「LEVEL」) が表示されます。

3 「▶」にタッチする

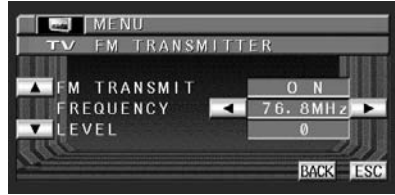
FMトランスミッターがONになります。

FMトランスミッターをOFFにするには、「◀」にタッチします。



4 「▼」にタッチして「FREQUENCY」を選択する

5 「◀」 / 「▶」にタッチして、出力する周波数を選択する



周波数は、76.4~78.4 MHzの中から、0.1 MHzステップで選択することができます。

6 「▼」にタッチして「LEVEL」を選択する

7 「◀」 / 「▶」にタッチして、レベルを調節する



レベルは、-6~+6の範囲で調節できます。

- FM放送と混信する場合は、他の周波数に切り換えてください。
- FMトランスミッターの実用到達距離は、約2mです。(法律により電波の強さが規制されています。)
- FMトランスミッターを使わないときは、必ずOFFにしてください。
- ナビゲーションの音声案内を出力することはできません。

その他の機能

エンタテインメントを表示させる

音楽などを聞いているときに、モニターの表示をエンタテインメント表示に切り換えることができます。車内で、いろいろな表示を楽しむことができます。

エンタテインメント表示について

エンタテインメント表示は、音楽などを聞いているときに、モニターにいろいろな画像を表示する機能です。

- ・「AV INPUT1」や「AV INPUT2」で「VIDEO」が選択されていないときは、ビデオの映像（AV-1、AV-2）には切り換わりません。（→51、52ページ）
- ・本機にナビゲーションユニットが接続されていないときは、ナビゲーションユニットの映像（NAVI）には切り換わりません。
- ・タッチキーやリスト表示中は、イルカの動画は表示されません。
- ・ナビゲーションユニットのソース（DVDやミュージックサーバーなど）を選んでいる場合、エンタテインメント表示に切り換えることはできません。

1 ENTボタンを押す

ボタンを押すたびに、エンタテインメントの表示は以下のように切り換わります。

SOURCEモード（S）のとき

現在のソースの映像→バックグラウンドビジュアル（DOLPHIN）→ビデオ1の映像→ビデオ2の映像

音声ソース（CDなど）を選んでいるときに現在のソースの映像を選ぶと、何も表示されません。

MASTERモード（M）のとき

現在のソースの映像（映像ソースのみ）→バックグラウンドピクチャー→バックグラウンドビジュアル（DOLPHIN）→ビデオ1の映像→ビデオ2の映像

画面上の表示をON/OFFする

OSD（画面上に表示されるチャンネルやプリセット番号などの表示）をON/OFFすることができます。

OSDについて

OSDは、画面上に表示されるチャンネルやプリセットチャンネル番号などの表示です。

OSDは、SOURCEモード（S）とMASTERモード（M）で初期設定が異なります。

- SOURCEモード（S）では、OSDの初期設定はONです。
- MASTERモード（M）では、OSDの初期設定はOFFです。

OSDをOFFにする

1 CHANNELボタンの（-）側を押しながら、エンジンスイッチをACCまたはONにする

OSDがOFFになります。

OSDをONにする

1 CHANNELボタンの（+）側を押しながら、エンジンスイッチをACCまたはONにする

OSDがONになります。

OSDの設定を切り換えると、テレビの記憶（プリセットや音声設定など）が消去されます。

付 録

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

1 BACK LIGHTボタンを長く（約2秒）押す

画面が消えます。

もう一度押すと、画面を表示します。

画面が消えている状態（バックライトOFF）のときに、モニターを収納して、再度立ち上げると、画面が表示されます（バックライトON）。

ワイド画面の拡大方法を切り換える

テレビやビデオの映像は、通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

- 通常映像は表示比率4：3、ワイド映像は表示比率16：9です。
- ワイドモードの設定内容は、映像ごとに記憶されます。
- ナビゲーションの映像は、ワイドモードの切り換えはできません。

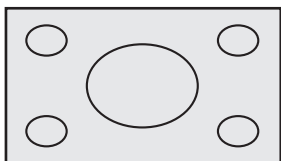
1 WIDEボタンを押す

ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

フル（FULL）→ジャスト（JUST）→シネマ（CINEMA）→ズーム（ZOOM）→ノーマル（NORMAL）

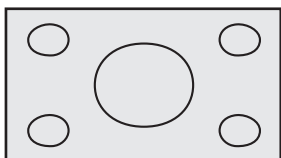
- ナビゲーションユニットを組み合わせている場合、WIDEボタンを長く（約2秒）押すごとに、ワイドモードが切り換わります。
- 通常のテレビ放送の番組でズーム、ノーマル以外の、映像の表示比率が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差がでます。
- シネマ、ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- ワイド設定は映像ソース（テレビ、ビデオなど）でのみ可能です。

ワイドモードの種類



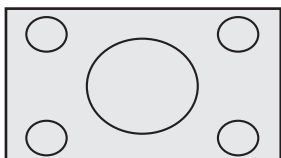
フル (FULL)

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面で楽しめます。



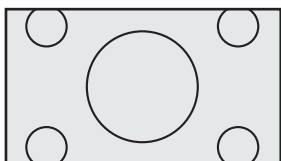
ジャスト (JUST)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



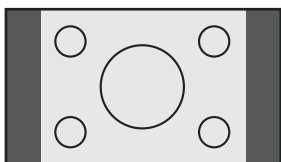
シネマ (CINEMA)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



ズーム (ZOOM)

4：3の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



ノーマル (NORMAL)

4：3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。

画質調整

黒の濃さやコントラストなどを調節することができます。

- DVDやテレビなどで別々に設定内容を記憶します。
- 黒の濃さ (BRIGHT) と明暗 (コントラスト) は、外光センサーで周囲の明るさを感じし、明るいとき (☀) と、暗いとき (🌙) で調整内容を別々に記憶します。
- 走行中は、画質調整できないようになっています。

1 V.ADJボタンを長く押す (約2秒)

画質調整メニューが表示されます。

2 調整したい項目にタッチする

項目	内容
BRIGHT	黒の濃さ
CONTRAST	コントラスト (明暗)
COLOR	色の濃さ
HUE	色合い (赤・緑)
DIMMER	明るさ

- 「BACK-CAMERA」は、バックカメラの設定がされているときに、選択できます。(→52ページ)
- 「BACK-CAMERA」にタッチすると、バックカメラの画質調整メニューに切り換わります。ソース画面の画質調整メニューに戻るには、「SOURCE」にタッチします。

3 「◀」 / 「▶」 にタッチして、設定を調整する

BRIGHT、CONTRAST、COLOR、HUE は、+24~-24の間で調節できます。

4 「ESC」 にタッチして、画質調整メニューを解除する

- 画質調整メニュー表示後、約30秒間操作を行わなかった場合は、ソース画面に戻ります。
- オーディオソースやナビゲーションの地図の場合、COLOR、HUEは調整できません。

液晶画面の明るさを調整する

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなってしまふことがあります。本機は、周囲の明るさに合わせて、液晶画面の明るさを自動的に調整します (3点式インテリジェントディマー)。その自動的に調整される明るさを好みに合わせて、設定しておくことができます。

1 V.ADJボタンを長く押す (約2秒)

2 「DIMMER」 にタッチする

外光センサーが感知した周囲の明るさ (外光レベル) を以下のように表示します。

表示	内容
橙色の太陽 (☀)	明るいとき (昼間)
赤い太陽 (☀)	中間の明るさ (夕方)
黄色い月 (🌙)	暗いとき (夜間)

3 「◀」 / 「▶」 にタッチして、明るさを調整する

- 現在の外光レベルに設定されている画面の明るさが調整されます。
- 暗い、中間、明るい、のそれぞれの外光レベルで調整でき、別々に記憶されます。

4 「ESC」 にタッチして、画質調整メニューを解除する

画質調整メニュー表示後、約30秒間操作を行わなかった場合は、ソース画面に戻ります。

リアモニターを使うとき

リアモニターを接続すると、後部座席で本機の映像を楽しむことができます。

安全走行のために

リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

リアモニターに表示される映像について

- リアモニターには、現在選択されているソースの映像が表示されます。
- リアモニターには、映像だけが表示されます。映像、音声などの情報や設定メニューは表示されません。

パイオニア製ナビゲーションユニットと組み合わせている場合、リアモニターにナビゲーションの地図を表示することもできます。（「リアモニターの表示を設定する」→53ページ）

本機のリセット

本機を初期状態に戻すことができます。

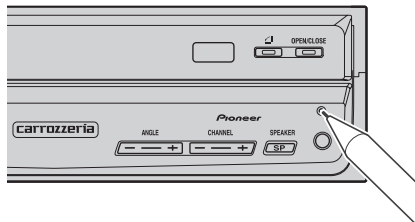
リセットボタンについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコン初期状態（ご購入直後の状態）に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

- 接続が終わった後。
 - 本機が正しく動作しないとき。
 - モニターが正しく表示されないとき。
- リセットボタンを押すと、本機の記憶（時計やテレビのプリセットなど）が消去されます。もう一度、セットし直してください。

1 ペン先などでリセットボタンを押す

本機のマイコンが初期状態に戻ります。



2 エンジンスイッチをONにする

エンジンスイッチがONやACCの場合、一度OFFにしてから、再度ONにしてください。

パイオニア製ナビゲーションシステムと組み合わせた場合、本機から先にリセットしてください。

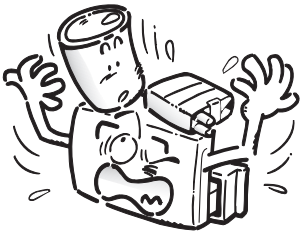
モニターの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

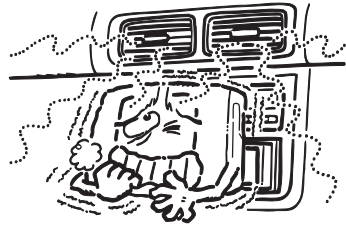
- 温度が-10度以下または+50度以上になる
ところでは、お使いにならないでください。
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、
高温になり、モニターの液晶画面が故障する
おそれがあります。できる限りモニターに直
射日光が当たらないようにしてください。ま
た、本機を使用していないときは、本体にモ
ニターを収納してください。



- モニターの液晶画面は、車内での視認性向上
のためにむき出しになっています。故障する
おそれがありますので、液晶画面を強く押さ
ないでください。
- モニターを立ち上げたときに、モニターの上
に物を置いたり、モニターの角度調節や立ち
上げ、収納を手動で行ったりしないでくださ
い。モニターに強い力が加わると故障するこ
とがあります。



- モニターを立ち上げたときに、モニターがエ
アコンの吹き出し口の近くに来る場合は、エ
アコンの風がモニターに当たらないようにし
てください。ヒーターの熱で液晶が壊れたり、
クーラーの冷気でモニター内部に水滴がつい
て故障するおそれがあります。



- モニターの立ち上げや収納のときに、物をは
さまないように注意してください。物がはさ
まると、モニターが動かなくなることがあり
ます。モニターが動かなくなった場合は、は
さまった物を取り除いてもう一度
OPEN/CLOSEボタンを押してください。

付
録

- エアバックなどの安全装置装着車の場合は、
安全装置の作動に支障のないようにご注意く
ださい。

液晶画面について

- モニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）ができることがあります。これは液晶モニター特有の現象で故障ではありません。
- 寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- モニター画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

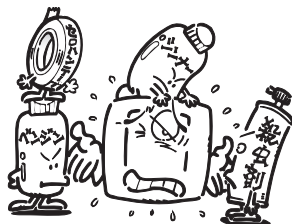
小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、モニター内部に小型蛍光管を使用しています。この蛍光管は消耗品で寿命があります。

- 蛍光管の寿命は約1万時間ですが、寒いところでお使いになりますと、寿命が短くなる場合があります。
- 蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店に、蛍光管の交換を依頼してください。

お手入れについて

- 画面に付いたホコリやモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布でから拭きしてください。
- 画面をふくときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。
- むれたぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



地上デジタルテレビジョン放送について

<地上アナログテレビジョン放送から地上デジタルテレビジョン放送への移行スケジュールについて>

地上デジタルテレビジョン放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログテレビジョン放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。

<地上デジタルテレビジョン放送開始に伴う放送チャンネル変更について>

地上デジタルテレビジョン放送開始に伴い、一部の地域では地上アナログテレビジョン放送のチャンネルが順次変更されております。当変更の詳細につきましては、総務省関連サイト等（下記）、各地域受信対策センターからの広報等をご参照願います。

<総務省関連サイト>

地上デジタルテレビジョン放送	http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/whatsnew/digital-broad/index.html
関東総合通信局（放送部放送課）	http://www.kanto-bt.go.jp/
東海総合通信局（放送部放送課）	http://www.tokai-bt.soumu.go.jp/
近畿総合通信局（放送部放送課）	http://www.ktab.go.jp/
報道資料 アナログ周波数変更の受信対策の開始について	http://www.soumu.go.jp/s-news/2003/030130_1.html
ARIB（電波産業会）サイト	http://www.arib.or.jp/
JEITA（電子情報技術産業協会）サイト	http://home.jeita.or.jp/dha/tdb/tdb_top.htm

<地上アナログテレビジョン放送のチャンネル変更についてのお問い合わせ先>

対象となる各地域の受信対策センターにご確認ください（→次ページ）。

<地上アナログテレビジョン放送のチャンネル変更に伴い、発生が予想される現象>

地上アナログテレビジョン放送チャンネルの変更は順次行われるため、プリセットされたチャンネルが受信できなくなる場合があります。この場合は、もう一度、お手持ちの取扱説明書に従い、プリセットの再設定をお願いいたします。

放送局名を表示する機能がある機種においては、ディスクまたは本体に収録されている放送局名の情報をもとに表示するため、放送局名が正しく表示されなくなる場合があります。また、音声操作により選局する機能がある機種においても、ディスクまたは本体に収録されている放送局名の情報をもとに音声認識するため、放送局名を発話して選局しても正しく受信できない場合があります。

地上デジタルテレビジョン放送が開始されても、本機で受信することはできません。

アナログテレビチャンネル変更対策 各地域受信対策センター (2003年4月現在)

名称	コールセンター	対応時間
茨城地域受信対策センター	TEL : 0120-771797 FAX : 0120-038268 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 029-835-8267	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
栃木地域受信対策センター	TEL : 0120-401293 FAX : 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 044-829-2713	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
群馬地域受信対策センター	TEL : 0120-357488 FAX : 0120-357886 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 027-210-9381	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
埼玉地域受信対策センター	TEL : 0120-401035 FAX : 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 044-829-2713	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
千葉地域受信対策センター	TEL : 0120-401398 FAX : 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 044-829-2713	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
東京・神奈川地域受信対策センター	TEL : 0120-401350 FAX : 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 044-829-2713	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
岐阜地域受信対策センター	TEL : 0120-124820 FAX : 0120-124989 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 052-968-7300	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
愛知・三重地域受信対策センター	TEL : 0120-124826 FAX : 0120-124851 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 052-968-7370	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
滋賀・京都地域受信対策センター	TEL : 0120-252639 FAX : 0120-252682 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 075-602-1826	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
大阪・奈良地域受信対策センター	TEL : 0120-623522 FAX : 0120-807404 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 06-6966-7182	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
兵庫地域受信対策センター	TEL : 0120-540700 FAX : 0120-807804 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 06-6966-7180	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
和歌山地域受信対策センター	TEL : 0120-815108 FAX : 0120-548070 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 06-6966-7184	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
香川地域受信対策センター	TEL : 0120-112064 FAX : 0120-661271 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 087-851-7880	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら
修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。

チェックしても直らな
いときは
本機をリセットしてく
ださい。(→62ページ)

それでも直らないとき
は
「保証書とアフターサー
ビス」(→69ページ)
をお読みになり、修理
を依頼してください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく 接続されていない。	正しく確実に接続されているかど うか、もう一度確認してくださ い。(「取付説明書」参照)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切 れたヒューズを同じ容量のヒュー ズと交換してください。 (「取付説明書」参照)
	ノイズなどが原因で内蔵のマイコ ンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 (→62ページ)
リモコンで操作できない。	電池が弱っている。	新しい電池に交換してください。 (→14ページ)
音が出ない。	接続が間違っている。	正しく確実に接続されているかど うか、もう一度確認してください。 (「取付説明書」参照)
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続 されていない。	パーキングブレーキコードを接続 し、パーキングブレーキをかけて ください。 (「取付説明書」参照)
	パーキングブレーキをかけていな い。	
音や映像が飛ぶ。	本機がしっかり固定されていない。	本機をしっかりと固定してください。
何も表示されない。	バックカメラが接続されていない。	バックカメラを接続してください。 (「取付説明書」参照)
	バックカメラの設定が間違ってい る。	正しく設定してください。 (→52ページ)

テレビ

症状	原因	処置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー” という 雑音が多い。	チャンネルが合っていない。 放送局の電波が弱い。	チャンネルを正しく合わせてくだ さい。(→27、31ページ) 他のチャンネルを選局してみてく ださい。(→27、31ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状 態が良くない。	受信状態が良くなると、映りが良 くなり、雑音が少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 (→27、31ページ)

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕 様

共通部

使用電源：
DC 14.4 V (10.8～15.1 V 使用可能)
アース方式：
マイナスアース方式
最大消費電流：
2.0 A
外形寸法：
(取付寸法)
178 (W) × 50 (H) × 165 (D) mm
(ノーズ寸法)：
170 (W) × 46 (H) × 25 (D) mm
質 量：
2.0 kg (コードユニット含まず)

モニター部

画面サイズ：
7.0 インチワイドモニター
アスペクト比：
16 : 9
有効表示面積：
154 × 87 mm
有効画素数：
336,960 画素 (1,440 × 234)
方式：
TFTアクティブマトリクス方式
NTSC方式
使用温度範囲：
-10 ~ +50 °C
保存温度範囲：
-20 ~ +80 °C
スライド角度調整範囲：
50° ~ 110° (初期設定角度 : 110°)

TVチューナー部

受信チャンネル：
VHF1 ~ 12 ch, UHF13 ~ 62 ch
映像信号方式：
NTSC
実用感度：
6 dB μ (75 Ω 、モノラル音声)
映像 S/N：
40 dB以上 (59 dB μ 入力、白100%)
映像雑音制限感度：
40 dB μ
アンテナ入力：
4 chダイバシティ (ϕ 3.5ミニプラグ)
アンテナケーブル長：
左 : 3.0 m
右 : 5.5 m
FMトランスミッター使用周波数：
76.4~78.4 MHz (0.1 MHz間隔で可変)
外部映像入力レベル：
1.0 V_{p-p}/75 Ω
外部音声入力レベル：
1.0 V/22 k Ω

付属品

リモコン	: 1
リチウム電池 (CR2025)	: 1
コードユニット	: 1式
取付ネジ類	: 1式
ダイバシティフィルムアンテナ	: 1式
取扱説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内	: 1

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。



この説明書の印刷には、植物性大豆インキを使用しています。

バイオニア製品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな？と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

● ホームページ

商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html>

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからのご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

- カーオーディオ／カーナビゲーション製品のご相談窓口 : ☎ **0070-800-8181-11**
: 【一般電話】 **03-5496-8016**
- 家庭用オーディオ/ビジュアル製品 (PDP・DVDなど)のご相談窓口 : ☎ **0070-800-8181-22**
: 【一般電話】 **03-5496-2986**
- カタログのご請求窓口 : ☎ **0070-800-8181-33**
カタログ請求とメールサービス登録のご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html>
- ファックス受付 : **03-3490-5718**

部品のご購入についてのご相談窓口

- 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入については、部品受付センターへお問い合わせください。

部品受付センター

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

電話 : ☎ **0120-5-81095**
: 【一般電話】 **0538-43-1161**
ファックス : ☎ **0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

- お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9:30～20:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

電話 : ☎ **0120-5-81028**
: 【一般電話】 **03-5496-2023**
ファックス : ☎ **0120-5-81029**

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 : 【一般電話】 **098-879-1910**
ファックス : **098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

©パイオニア株式会社 2004

<KMMZF> <04D00000> <CRA3630-A>